

ウィズカフェ、カウンセリング支援等における

新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン

2021年9月1日実施

更生保護施設ウィズ広島

「非常事態宣言」「まん延防止等重点措置」等に伴う新型コロナ感染拡大防止のための集中的な対策期間中の支援事業は、次のガイドラインにもとづいて実施する。

1 会場 本館1階交流ルームを会場とする場合

- ・人数上限を「40人」とする。

大声での歓声、声援などが想定されない支援事業の例

抹茶、お茶、カフェシスター、ひま～ぷカフェ、来所相談、関係機関団体等との連絡協議会、式典等

大声での歓声、声援などが想定される支援事業の例

ゲーム等を加味したロスカフェ、フリーマーケット等

- ・上記のうち、参加者が自由に移動できるが、入退場や会場内の適切な行動確保ができる場合、又は実施定員が設定されている場合は、随時、定員の50%までの参加人数となるように調整する。
- ・実施定員が設定されていない場合は、十分な人と人との間隔(1m)を空けることとする。

2 会場 本館1階カウンセリングルーム及び2階相談室

- ・人数上限を「3人」とする。

カウンセリング、ひとりひま～ぷカフェ、来所相談等

3 感染防止対策

- (1) 消毒の徹底、出入口、トイレなどでの手指消毒、施設内のこまめな消毒、及び食前等一般的な手洗いを奨励する。
- (2) マスクの常時着用

マスクの着用状況を確認し、マスクを持っていない人がいた場合は主催者側で配付する。

(3) 飲食の制限

飲食用に感染防止対策を行ったエリア以外で飲食の制限、休憩時間中、及びイベント前後の食事等による感染防止を徹底する。

(4) 陽性等有症状者の入場、参加防止

入場等のとき、検温を実施し、発熱などの症状がある場合は、イベントへの参加を控えるよう要請する。入場は断ってもロス食品等のある場合は手渡し提供する。

(5) 大声を出さないことを担保する。

大声を出す人がいたときは、個別に注意等して対応する。

(6) 3密の回避

こまめな換気、入退場やロビーでのフリーマーケット・トイレなどでの密集回避（時間差移動の厳守要請、参加者の配置、導線の確保など）、休憩時間中やイベントの喫食などでの感染防止の徹底、入退場口・トイレなどの密集が回避できない場合は、その場所の使用能力に応じて人数制限を実施する。

(7) 職員やボランティア、ピアサポーター間の接触・飛沫感染リスクの排除など確実な措置をとる。ボランティア演者が歌唱などを行う場合は、舞台から観客まで一定の距離を確保（最低2m）、又は飛沫感染予防パーティションによって参加者を防御する。

(8) 施設内に陽性等有症状者が発生し、入院、又は宿泊療養施設に療養した者のうち、症状が寛解して帰所、居室療養する場合は、帰所後1～3日間、定期的に検温、問診などして継続的に陰性と認められるまでの間、すべてのイベントは中止する。ただし、ひま～ぶカフェ、カウンセリング支援等個別性のある支援は、PCR検査の結果、又はその者を除き陰性と認められている者をもって実施する。

4 喫食を伴うイベント

喫食を伴うイベントについては、飛沫感染予防パーティションの設置や一定の距離を確保、換気など必要な感染防止対策に加え、以下の条件がすべて担保される場合に限り、これを認める。

(1) 喫食以外はマスク着用厳守、必要に応じてマスクの配布

(2) 黙食の徹底

(3) 十分な換気

5 実施結果報告書を作成

イベントの開催を予定する場合は、そのイベントの感染防止策チェックリスト等疎明資料、実施結果報告書を作成、供覧して保管する。

6 ガイドラインを遵守することの公表

当施設の支援事業は、このガイドラインによって行うことをHP等で公表する。 以 上